

第 **39** 期

中間事業報告書

平成19年4月1日から

平成19年9月30日まで

株式会社 **桑山**

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第39期上半期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）における事業概況をとりまとめましたのでご報告申し上げます。

わが国経済は、米国から広がったサブプライムローン問題の翳りを抱えながらも資源関連・素材関連業界を中心に好調な企業業績、高まる設備投資等でマクロ面では確かな道のりを歩んで参りましたが、宝飾品業界は一昨年にはじまった過量販売問題及び貴金属相場高騰の影響をもろに受け、販売のターゲットとしていた中位価格帯が振るわず非常に厳しい事業環境が続いております。

私たち株式会社桑山は、引続き人事、製造、営業の強化を図る一方で販管費等コストの削減を実行し、この難関を打開すべく、体制を整えつつあります。今後も総合ジュエリーメーカーとして木目細かな市場分析に基づいた新しい視点で発想豊かに市場対応して行く所存であります。

なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

代表取締役社長

相原 信雄

事業の概況

事業の経過及び成果

当中間期におけるわが国経済は、米国のサブプライムローンに端を発した金融の不安定要素を抱えながらも好調な中国やアジア経済全般、米国景気等の輸出環境にも支えられ、資源業界、素材業界関連を中心に企業業績の拡大、設備投資の増加で雇用情勢の改善が進み、マクロ面では好調を持続して来ております。しかし個人消費に関しましては、個人所得の伸び悩みの影響で好況感に乏しく、特に当宝飾品業界におきましては、過量販売規制や貴金属素材価格の高騰でボリュームゾーンである低中位価格帯への商品対応が追いついていない等の影響もあり、好調な日本経済全体の波からは大きく乗り遅れた状況で推移致しました。

こうした業界環境厳しい中、まず出づるを律する意味で全社を挙げての販管費等のコスト削減に向けて努力を行って参りました。営業活動においては与信管理を重視した政策をとる一方で、ボリュームゾーンへの新商品の投入、さらには潜在需要喚起の為、木目細かな市場分析に基づいた新しい視点からの商品作りに努力して参りました。又、富山、タイ、中国における製造部門においては、受発注配分の適正化を行い、生産効率のさらなる向上を図るべく努力して来ております。厳しい環境下、こういった企業努力が結果的に業績の向上に繋がるものと、信念を持って頑張っております。

当中間期の業績としましては、貴金属素材価格の上昇にも拘らず、上記事情を反映しまして、売上高は、108億15百万円（前年同期比17.6%減）となり、利益に関しましても、過量販売規制の影響や貴金属素材価格の上昇で低中位価格帯への商品対応の遅れもあった事、また従来当社の役員退職慰労金は保険積立金として毎年積立てて参りましたが、公認会計士協会の「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金に関する監査上の取扱い」に則り、役員退職慰労引当金として当中間期分より販売費及び一般管理費として計上した事等により、営業利益は85百万円（前年同期比84.7%減）、経常利益は51百万円（前年同期比90.5%減）の大幅減となりました。中間純利益に関しましては、前掲の役員退職慰労金の過年度分を特別損失として計上しました結果、4億15百万円の損失となりました。

品目別の売上高は、以下の通りであります。

ネックレス	42億30百万円（前年同期比 19.8%減）
ブレスレット	3億89百万円（前年同期比 25.8%減）
リング	16億51百万円（前年同期比 13.2%減）
その他	45億43百万円（前年同期比 16.1%減）

今後の状況に関しましては、米国に端を発したサブプライムローンの影響は比較的軽微とされていた日本の金融業界にも翳りをもたらしており、さらに好調な海外景気で潤っていた輸出産業も円高傾向で先行き楽観を許さない状況となっております。このような状況下、個人消費、とりわけ宝飾品需要に関しましては期待していた本格需要回帰を見ぬまま、消費者マインドの冷え込み、さらには素材である貴金属地金価格の上昇や、いまだ残っている過量販売規制の影響等の逆風もあって、今後も非常に厳しい事業環境が継続するものとの前提で市場対応行っていくべきと判断しております。

こうした業界環境厳しい中、当社の注力すべき点は、引続き与信管理に十分配慮した営業活動の励行、潜在需要や新しい視点からの需要を喚起すべく、木目細かな市場分析に基づいた商品への取組みに努力する事、さらに富山、タイ、中国における製造部門の受発注配分の適正化や生産効率のさらなる向上を図り、製販の総合力を持って対応して行く事にあると判断しております。

製造部門に関しましては、当中間期に生産管理部、商品設計部、製造部、品質保証部からなる、4部体制としたばかりの富山工場と、中国の無錫金藤首飾有限公司及びタイ国のクリスティージェムカンパニーリミテッドの海外2工場との一元管理を早期に実現すべく努力中であります。

営業部門に関しましても、当中間期に5部体制から、事業開発部、第1営業部、第2営業部、営業企画部の4部体制にスリム化し、顧客対応の迅速化が図れる体制と致しました。

以上のように地道ではありますが、市場対応を怠りなく行いつつ、営業力、製造力、さらにはその基本である人事力の充実化を図り、構造的変化を遂げつつある宝飾品業界に向け新規需要開拓、潜在需要喚起に向けて努力して行く所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間期末 (平成19年9月30日現在)	前中間期末 (平成18年9月30日現在)
資 産 の 部			
流 動 資 産			
現金及び預金		1,064,812	1,059,925
受取手形		817,538	899,466
売掛金		3,742,516	3,935,236
たな卸資産		9,135,589	8,804,815
その他		441,210	465,412
貸倒引当金		△ 7,000	△ 8,000
流動資産合計		15,194,667	15,156,856
固 定 資 産			
有 形 固 定 資 産			
建物		1,202,164	1,266,584
土地		5,354,525	5,354,525
その他		480,279	437,851
有形固定資産合計		7,036,969	7,058,960
無 形 固 定 資 産			
投資その他の資産			
投資有価証券		2,101,323	2,590,249
その他		1,317,576	1,278,086
貸倒引当金		△ 40,113	△ 60,433
投資その他の資産合計		3,378,786	3,807,901
固定資産合計		11,285,587	11,510,174
資 産 合 計		26,480,254	26,667,031

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

	(当中間期末)	(前中間期末)
2. 有形固定資産の減価償却累計額	4,171,281千円	4,093,301千円
3. 担保に供している資産		
現金及び預金	500,000千円	500,000千円
建物	864,939千円	914,985千円
土地	5,278,657千円	5,278,657千円
投資有価証券	980,590千円	894,935千円
計	7,624,187千円	7,588,577千円

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間期末	前中間期末
		(平成19年9月30日現在)	(平成18年9月30日現在)
負債の部			
流動負債			
買掛金		870,792	782,243
短期借入金		5,800,000	5,700,000
一年内返済予定長期借入金		1,149,421	1,213,192
一年内償還予定社債		600,000	300,000
未払法人税等		16,998	406,183
賞与引当金		120,000	140,000
その他の		199,495	246,671
流動負債合計		8,756,708	8,788,290
固定負債			
社債		1,100,000	1,700,000
長期借入金		2,260,229	1,586,447
役員退職慰労引当金		357,000	—
その他の		186,131	64,834
固定負債合計		3,903,360	3,351,281
負債合計		12,660,069	12,139,572
純資産の部			
株主資本			
資本金		3,013,529	3,013,529
資本剰余金		2,944,369	2,944,369
利益剰余金		180,930	180,930
利益準備金		—	—
その他利益剰余金		—	—
別途積立金		6,563,000	6,563,000
繰越利益剰余金		929,543	1,587,087
利益剰余金合計		7,673,474	8,331,017
自己株式		△ 205,499	△ 205,357
株主資本合計		13,425,873	14,083,559
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金		394,311	443,899
評価・換算差額等合計		394,311	443,899
純資産合計		13,820,184	14,527,458
負債・純資産合計		26,480,254	26,667,031

(当中間期末)

(前中間期末)

左記に対する債務

短期借入金

4,111,900千円

4,070,100千円

一年内返済予定長期借入金

809,421千円

1,113,192千円

長期借入金

1,820,229千円

986,447千円

計

6,741,550千円

6,169,739千円

上記の他地金リース債務

3,631,260千円

3,346,230千円

4. 中間貸借対照表に計上したたな卸資産の他に品借りしている金地金等
(中間期末時価で換算)

3,631,260千円

3,346,230千円

5. 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ当中間期末及び前中間期末
は流動資産の「その他」に含めて表示しております。

6. 保証債務

3,499千円

5,257千円

7. 自己株式

361,004株

360,828株

(205,499千円)

(205,357千円)

中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間期	前中間期
		(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)
売 上 高		10,815,201	13,118,662
売 上 原 価		9,503,949	11,195,938
売 上 総 利 益		1,311,252	1,922,723
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,225,535	1,362,393
営 業 利 益		85,717	560,330
営 業 外 収 益		62,413	63,498
営 業 外 費 用		96,261	75,288
経 常 利 益		51,868	548,540
特 別 利 益		52,433	1,375
特 別 損 失		350,099	1,535
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)		△ 245,797	548,379
法人税、住民税及び事業税		11,000	405,000
法人税等調整額		158,281	△ 121,695
差 引		169,281	283,304
中間純利益又は中間純損失(△)		△ 415,079	265,074

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

	(当中間期)	(前中間期)
2. 営業外収益のうち主要項目		
受 取 利 息	2,450千円	2,714千円
受 取 配 当 金	15,768千円	12,651千円
3. 営業外費用のうち主要項目		
支 払 利 息	63,880千円	42,714千円
4. 特別利益のうち主要項目		
投資有価証券売却益	46,500千円	1,375千円
5. 特別損失のうち主要項目		
投資有価証券評価損	-千円	1,046千円
役員退職慰労引当金繰入	346,350千円	-千円

中間株主資本等変動計算書

(自 平成19年4月1日
至 平成19年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成19年3月31日残高	3,013,529	2,944,369	2,944,369
中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当			
中間純損失			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)			
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—
平成19年9月30日残高	3,013,529	2,944,369	2,944,369

	株主資本					
	利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成19年3月31日残高	180,930	6,563,000	1,434,358	8,178,288	△205,435	13,930,751
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当			△89,735	△89,735		△89,735
中間純損失			△415,079	△415,079		△415,079
自己株式の取得					△63	△63
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△504,814	△504,814	△63	△504,878
平成19年9月30日残高	180,930	6,563,000	929,543	7,673,474	△205,499	13,425,873

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	417,463	417,463	14,348,214
中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当			△89,735
中間純損失			△415,079
自己株式の取得			△63
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	△23,151	△23,151	△23,151
中間会計期間中の変動額合計	△23,151	△23,151	△528,030
平成19年9月30日残高	394,311	394,311	13,820,184

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間連結会計期間末 (平成19年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成18年9月30日現在)
資 産 の 部			
流 動 資 産			
現金及び預金		1,821,954	1,855,269
受取手形及び売掛金		5,355,228	5,520,474
たな卸資産		12,394,872	11,912,857
その他		539,415	546,188
貸倒引当金		△ 15,070	△ 16,163
流動資産合計		20,096,400	19,818,626
固 定 資 産			
有 形 固 定 資 産			
建 物		1,612,176	1,609,284
土 地		5,448,008	5,427,100
その他		772,306	693,122
有形固定資産合計		7,832,492	7,729,508
無 形 固 定 資 産			
の れ ん		38,132	331,431
そ の 他		921,083	687,269
無形固定資産合計		959,215	1,018,701
投 資 そ の 他 の 資 産			
投資有価証券		1,473,473	1,855,341
その他		744,324	723,182
貸倒引当金		△ 62,353	△ 89,073
投資その他の資産合計		2,155,444	2,489,450
固定資産合計		10,947,151	11,237,660
資 産 合 計		31,043,552	31,056,286

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(当中間連結会計期間末) (前中間連結会計期間末)

2. 有形固定資産の減価償却累計額	4,745,747千円	4,499,524千円
3. 担保に供している資産		
現金及び預金	500,000千円	500,000千円
建 物	949,004千円	1,055,073千円
土 地	5,278,657千円	5,278,657千円
投資有価証券	980,590千円	894,935千円
そ の 他	16,767千円	123,005千円
計	7,725,019千円	7,851,672千円

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間連結会計期間末	前中間連結会計期間末
		(平成19年9月30日現在)	(平成18年9月30日現在)
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金		1,850,831	1,619,232
短期借入金		9,082,000	9,008,750
一年内返済予定長期借入金		1,149,421	1,253,192
一年内償還予定社債		600,000	300,000
未払法人税等		19,189	412,920
賞与引当金		145,600	175,256
その他		316,830	348,209
流動負債合計		13,163,872	13,117,560
固定負債			
社債		1,100,000	1,700,000
長期借入金		2,260,229	1,586,447
役員退職慰労引当金		357,000	—
その他		208,437	163,245
固定負債合計		3,925,666	3,449,692
負債合計		17,089,539	16,567,252
純資産の部			
株主資本			
資本金		3,013,529	3,013,529
資本剰余金		2,944,369	2,944,369
利益剰余金		7,479,405	8,125,797
自己株式		△ 205,499	△ 205,357
株主資本合計		13,231,804	13,878,338
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金		373,698	488,996
為替換算調整勘定		348,510	121,698
評価・換算差額等合計		722,209	610,695
純資産合計		13,954,013	14,489,034
負債・純資産合計		31,043,552	31,056,286

左記に対する債務

短期借入金

(当中間連結会計期間末)

(前中間連結会計期間末)

一年内返済予定長期借入金

4,111,900千円

4,091,700千円

長期借入金

809,421千円

1,113,192千円

計

1,820,229千円

986,447千円

6,741,550千円

6,191,339千円

上記の他地金リース債務

3,631,260千円

3,346,230千円

4. 保証債務

3,499千円

5,257千円

5. 自己株式

361,004株

360,828株

(205,499千円)

(205,357千円)

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
		(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	(自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)
売 上 高		12,317,259	14,250,926
売 上 原 価		10,282,743	11,546,353
売 上 総 利 益		2,034,515	2,704,573
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,031,907	2,151,392
営 業 利 益		2,608	553,180
営 業 外 収 益		104,814	103,080
営 業 外 費 用		120,829	93,880
経常利益又は経常損失(△)		△ 13,405	562,380
特 別 利 益		52,927	1,435
特 別 損 失		350,099	1,535
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)		△ 310,578	562,280
法人税、住民税及び事業税		12,299	411,970
法人税等調整額		142,894	△ 122,923
差 引		155,193	289,046
中間純利益又は中間純損失(△)		△ 465,772	273,233

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(当中間連結会計期間) (前中間連結会計期間)

2. 営業外収益のうち主要項目		
受 取 利 息	5,228千円	4,627千円
受 取 配 当 金	17,638千円	16,691千円
3. 営業外費用のうち主要項目		
支 払 利 息	97,007千円	64,799千円
4. 特別利益のうち主要項目		
貸倒引当金戻入益	5,457千円	—千円
投資有価証券売却益	46,500千円	1,375千円
5. 特別損失のうち主要項目		
役員退職慰労引当金繰入額	346,350千円	—千円

中間連結株主資本等変動計算書

(自 平成19年4月1日
至 平成19年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	3,013,529	2,944,369	8,034,912	△205,435	13,787,375
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△89,735		△89,735
中間純損失			△465,772		△465,772
自己株式の取得				△63	△63
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△555,507	△63	△555,570
平成19年9月30日残高	3,013,529	2,944,369	7,479,405	△205,499	13,231,804

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高	409,397	209,412	618,809	14,406,185
中間連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当				△89,735
中間純損失				△465,772
自己株式の取得				△63
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	△35,698	139,098	103,399	103,399
中間連結会計期間中の変動額合計	△35,698	139,098	103,399	△452,171
平成19年9月30日残高	373,698	348,510	722,209	13,954,013

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

役員

(平成19年9月30日現在)

代表取締役会長	桑山征洋
代表取締役社長	相原信雄
専務取締役	桑山貴洋
常務取締役	神永幸三
取締役	小林勇美雄
取締役	久野五男
常勤監査役	内山浩一
監査役	大石豊
監査役	窪田久信
監査役	松田良行

執行役員

(平成19年9月30日現在)

執行役員	竹内甫
執行役員	松本秀
執行役員	大黒泰義
執行役員	好田秀実
執行役員	松本達真

会 社 の 概 況

(平成19年 9月30日現在)

設 立	昭和45年 4月14日
資 本 金	3,013,529,087円
発行済株式総数	10,331,546株
株 主 数	1,339名
従 業 員 数	341名 (他にパート社員等116名がおります。)

主要な営業所および工場

- ①本社・営業部 東京都台東区
- ②支店 山梨県甲府市、大阪府大阪市、
福岡県福岡市
- ③工場 富山県魚津市
- ④卸店舗 東京都台東区他合計 3 ヲ所

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
期末配当金	毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録されている株主にお支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議により9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録されている株主にお支払いいたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞 なお、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ (http://www.kuwayama.co.jp/) に掲載いたしております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

